

ゆあさ 議会だより

平成 29年5月 発行 No.66

発行：和歌山県湯浅町議会

編集：議会広報編集常任委員会

住所：〒643 - 0002

有田郡湯浅町大字青木 668 番地 1

TEL 0737 - 64 - 1118

FAX 0737 - 62 - 4450

URL：http://www.town.yuasa.wakayama.jp/

e-mail：gikai@town.yuasa.lg.jp



**4月16日 湯浅で
全国トライアル大会初開催!!**

3月定例会

全員協議会・各常任委員会	2~8
各議員の賛否	9
一般質問(6人が登壇)	10~15
編集後記	16

平成29年度一般会計当初予算 58億9,486万円

(前年度比較: 2億393万円増)

栖原ポンプ場及び栖原地区(三味川等)雨水管渠設計業務	6,700万円
小児インフルエンザワクチン接種委託	364万円
ごみ収集運搬業務委託	1,929万円

平成29年第1回定例会を3月8日から24日までの日程で開催しました。

本定例会に提案された各会計予算、条例改正など、提案された議報1件、議案24件、報告1件、発議1件は原案の通り可決・承認しました。

(単位: 万円)

項目	金額	主な歳出の説明
議会費	6,656	議会運営費など
総務費	9億4,076	ふるさと納税業務、地籍調査事業、人権啓発費など
民生費	20億1,034	保育所費、障害者自立支援給付費、中学校卒業までの医療費の無料化など
衛生費	6億7,893	保健センター運営費、健康づくり事業、各種ガン検診、清掃対策費など
農林水産業費	1億8,735	鳥獣害防止対策事業、中山間地域等直接支払交付金、栖原漁港海岸機能診断及び長寿命化計画策定業務、農振計画策定業務など
商工費	6,066	ゆあさ地方創生観光まちづくり推進事業業務、商工会・観光協会シロウオまつりなど各種団体への補助金
土木費	4億925	熊野古道及び重伝建地区周辺道路等整備計画業務、橋梁長寿命化修繕工事、町内各所道路改修工事、定住促進奨励金など
消防費	3億967	空き家実態調査業務、避難路整備工事、資機材搬送車購入など
教育費	5億7,078	重伝建地区補助金、公民館・図書館・体育施設の管理費、給食センター運営費など
その他	6億6,057	公債費、予備費など
歳出合計	58億9,487	



全員協議会

人事案件

○教育委員会教育長任命同意
新しく楠義隆氏くすよしたかを任命することに同意しました。



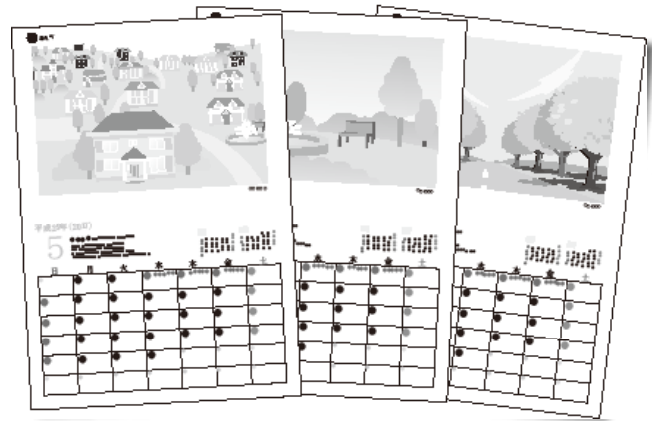
一般会計予算

問 私立幼稚園奨励費が増えた理由は。

答 一人親世帯に対する補助金上限額が上がったためです。

問 町民カレンダーの目的は。

答 イベントの周知やまちの魅力ある景色などをカレンダーの写真で発信していきたいと考えています。



問 田栖川小学校吉川分校プール解体工事による代替地は考えているのか。

答 3年前から田栖川小学校の本校が新しいプールになっていますので、バスで本校に行き、プールの授業を受ける形になっています。

○平成28年度
一般会計補正予算(第5号)

ふるさとまちづくり寄附金が増えたことにより、業務手数料、事務委託、積立金など3億5千万円を追加したものです。

問 ふるさと納税に対するクレームの対応は。

答 事業者を確認し、対応していますが、今後クレーム件数、内容などをまとめたものを作成していきたいと考えています。

○平成28年度
一般会計補正予算(第6号)

民生委員、児童委員活動助成金、一般不妊治療費、農業集落排水事業の決算見込みを受け、交付税算入分以外の繰出金など2,712万円を追加したものです。



田栖川小学校プール





湯浅町長賞 贈呈風景

問 空き家実態調査は以前にも

していたと思うが、今回の調査との違いは。

答 5年前の調査は空き家の活

用についての調査でした。今回は特定空き家（危険空き家）を中心に対策を進めるための調査です。

問 大相撲大阪場所懸賞金は一回

限りなのか。

答 今年の3月26日が1回目と

なり、大阪場所で合計3回行います。特産品は醤油のPRとして町内事業者からの提供です。

問 地籍事業終了の予定年度は。

答 平成28年度より湯浅地区に

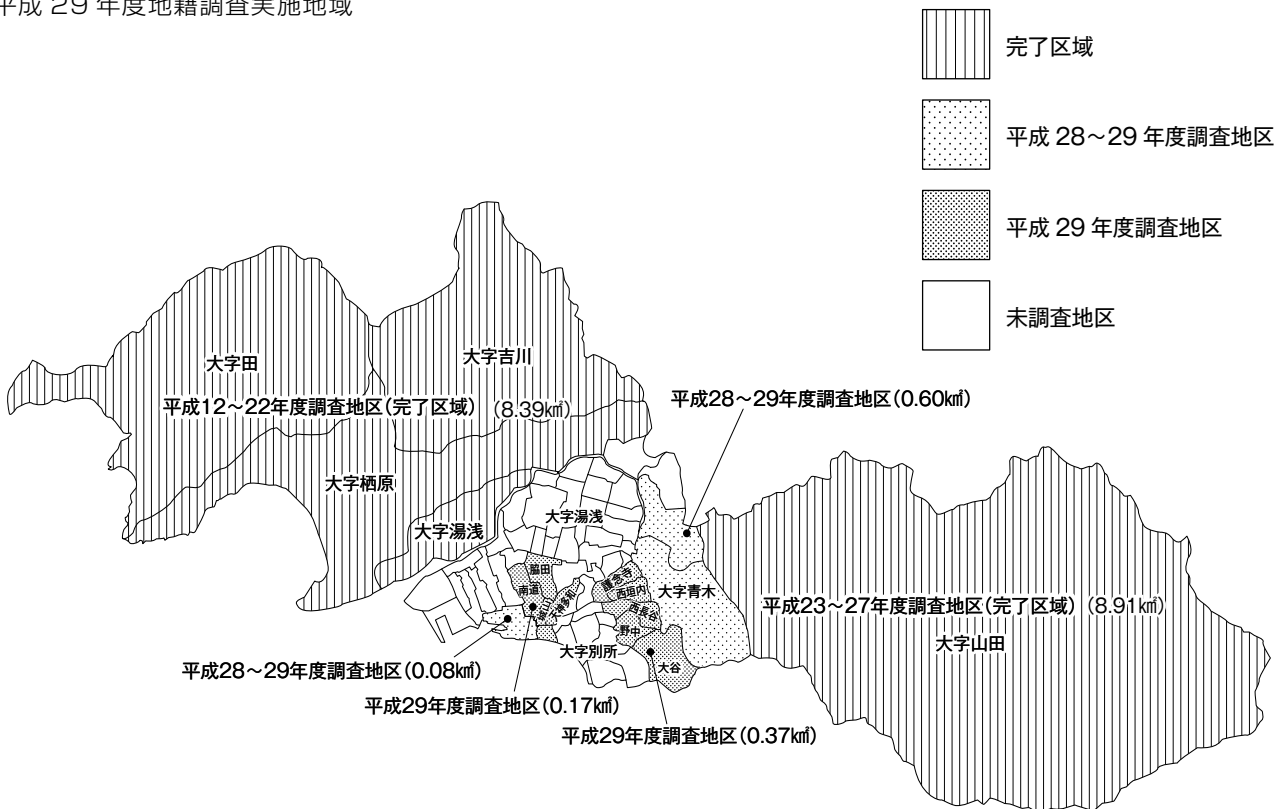
入っており、平成35年度に現地調査を終え、平成37年度で終了する予定です。

問 庁舎清掃業務の内容は。

答 普段は職員が分担して掃除

していますが、窓やカーペットの清掃を専門業者に委託します。

平成29年度地籍調査実施地域



総務文教常任委員会

主な条例制定・議案

○公契約の基本を定める条例制定

公契約の適正な履行を図り、労働者の生活の安定及び公共サービスの向上並びに地域の活性化への寄与を目的とするものです。

問 今までになかったことをやっていたのか。

答 今までもやってきた方策ですが、内容について事業者に再認識してもらうよう周知するものです。

○個人情報保護条例の一部改正
番号利用法の改正により、町条例において個人番号を使用することを定めている事務について個人番号とセットの個人情報

である「特定個人情報」の提供が認められることになったための改正です。

○職員の勤務時間及び休日、休暇に関する条例の一部改正

○育児休業等に関する条例の一部改正
右の2件は育児休業等の対象となる子に特別養子の子が追加されたものです。

○ふるさとまちづくり基金設置、管理及び処分に関する条例の一部改正

寄附金の弾力的な運用を図るため、寄附金を当該年度の事業にも充当できるように改正するものです。

問 寄附額全体のうち委託業者を通さずに町へ直接来たのほどれくらいか。

答 全体で約9億円の寄附額のうち、約2100万円です。

○税条例等の一部改正

県税の「自動車取得税」に代わり、町税「軽自動車税環境性能割」が新設されることなどの改正です。

平成29年度特別会計予算

※駐車場特別会計は7頁別表のとおりです。

問 駅前駐車場は庁舎移転から2年近くになるが、現状は。

答 公共施設等にポスターを貼り利用を周知していますが、新規契約は約5台にとどまっているため、今後も周知啓発に努めていきます。



駅前駐車場



福祉産業建設常任委員会

主な条例制定・議案

○介護予防及び地域支援事業負担金徴収条例の一部改正

運動指導の月額を1000円から500円に、また介護予防事業利用料徴収金の規定を削除するものです。

要望 町の主催する各種体操教室の申し込みを一本化してほしい。

指定管理者の指定



田栖川学童保育所



まちなみ交流館



甚風呂



ミネラルウォーター大型共同作業場

新設された田栖川学童保育所は田栖川元気っ子クラブ、次の3件(上記写真の施設)については継続して指定管理者に指定するものです。

問 施設使用料を徴収する事業者の基準は。

答 収益事業で負担能力等も考慮して考えていきます。

要望 大型共同作業場の設置目的である地域の雇用促進を再度指定管理者に指導してほしい。

平成29年度特別会計予算
平成29年度水道事業会計

次頁の別表のとおり。

問 国民健康保険事業の基金額、徴収率及びヘルスアップ事業の見直しは。

答 基金額は約2億6千万円で、平成28年度徴収率見込みは現年度分96%滞納分27%、ヘル

スアップ事業で効果の低かった特定健診経年未受診者への勧奨事業は実施しないが、糖尿病性腎症重症化予防事業や多受診指導事業は引き続き実施します。

問 後期高齢者医療の高額介護合算等支給申請書は分かりにくいのでは。

答 作成元の和歌山県後期高齢者医療広域連合に改善要求をします。

問 介護保険事業の介護予防・日常生活支援総合事業の動向は。

答 平成29年度は基本的に現行どおりを予定しています。

その他の審議事項

「湯浅町出産祝い金支給条例の一部改正」について、各議員より支給条件等に対して質問・意見があり、当局から検討する余地があるとのこと、撤回されました。



平成29年度 特別会計予算・水道事業予算

(単位：万円)

項目	金額	説明
駐車場事業	1億5,563	用地使用料、管理運営費など
国民健康保険事業	21億5,464	保険給付費、後期高齢者支援金など
後期高齢者医療	3億875	後期高齢者医療広域連合納付金など
同和対策住宅新築資金等	2億6,220	前年度繰上充用金など
介護保険事業	13億5,962	保険給付費、地域支援事業費など
農業集落排水事業	3,752	管理運営に伴う費用など
水道事業 収益的収支 資本的収支	2億8,901 1億803	老朽管布設替工事、水源地開拓費など
歳出合計	46億7,540	

人権推進特別委員会

【議題】

- 町民人権学習会について
- 職員人権研修について

【報告】

人権学習会は町内22ヶ所で開催し、484名の参加者があり、意見交換を行いました。

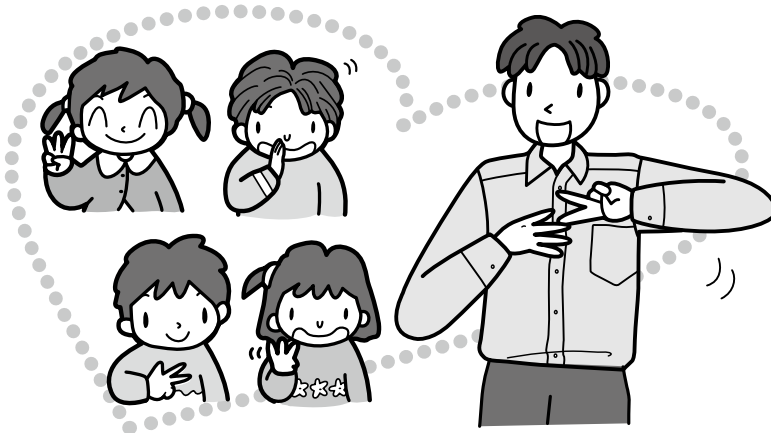
また、職員を対象に同和問題についての研修会を開催し、126名が参加、「同和問題」の過去から証言、未来への提言のDVDを鑑賞後、部落差別の解消の推進に関する法律、差別事件が発生した際の対応例や職員としての心構えについての研修をしました。

【意見】

部落差別解消法の推進に関する法律が成立したことで、今後、相談体制の充実、教育、啓発のほか、実態に係るアンケート調査などをしてほしい。

問 窓口等で手話通訳できる職員はいるのか。

答 対応できるように手話教室への参加も検討します。



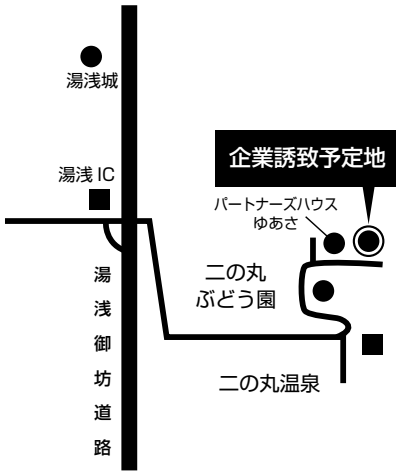
まちづくり・
防災特別委員会

【議題】

- 企業誘致について
- 防災関連の報告について

【報告】 山田山（南谷）の企業誘

致として管更生の製造販売をしているワイオー・ラボ株式会社
に賃貸します。また防災関連では家具転倒防止器具の設置事業
について今年度78件設置され、
これまでに合計561件設置、
また、今後南海トラフ地震が起



こった後の事前復興計画の策定
を県が主導で各市町村が勧めて
いきます。

問 誘致場所はなぜ今までト
ライアル開催地になっていた南谷
になったのか。

答 南谷と北谷の2カ所から企
業の希望により決定しました。
トライアルの開催場所は主催者
と協議の上、会場を北谷へ移転
することになりました。

問 大仙堀は今後どのようなし
ていくのか。

答 歴史的風致維持向上計画へ
位置づけをしていますが、整備
を早く進めていくための取り組
みを検討していきます。

問 熊野古道と重伝建地区周辺
道路等整備計画を策定していく

ことになっているが、まちの風
情を考慮していつてほしい、ま
た策定する範囲はどこまでを考
えているのか。

答 今のところは歴史的風致維
持向上計画の中で熊野古道・重

伝建地区周辺で考えているが、
策定する上で地域についても再
度検討していきます。



整備が待たれる大仙堀



下記の意見書を可決し、関係機関へ送付しました。

産後ケア体制の支援強化を求める意見書

子育て支援は、国や各自治体の取り組みにより、妊娠・出産・育児と切れ目のない支援策が講じられてきましたが、現在、大きな議題になっているのが出産前と直後の対応です。特に、妊娠中からの切れ目のない継続的な支援が必要です。

出産により女性の心身には大きな負担が生じます。特に出産直後から1か月間は、身体的な負荷に加えて、急激なホルモンバランスの変化で、精神的に不安定になる傾向が強く、十分な休養とサポートが必要です。

近年、晩婚・晩産により女性の出産年齢が年々高くなってきています。出産する女性の親の年齢も高齢化しており、十分な手助けを受けられない状況があります。また、核家族化が進み、地域との交流も希薄化している中で、不安を抱えたまま母親としての育児がスタートするケースが多くなっています。

良好な母子の愛着形成を促進するうえで、出産直後の1か月間が最も大事な時期であり、更には産後早期の親子関係が虐待や育児放棄の予防・早期発見などの役割も果たすといわれています。従って、出産直後の母親への精神的・身体的なサポートは欠かせないものとなってきています。

国は平成26年度の予算に、これまで支援が届かなかった出産後の女性の心身をサポートする「妊娠・出産包括支援モデル事業」を計上しました。少子化対策を進めるにあたって「産後ケア対策」は喫緊の課題であり、早急に確立する必要があります。よって以下の項目の実現を強く求めるものです。

記

1. 「妊娠・出産包括支援事業」を着実に実施すること。その上で、本事業の成果を速やかに検証し、全国の自治体で円滑に産前・産後の支援、特に産後ケアを提供できる体制を構築すること。
2. 利用者支援事業の展開に当たっては、経済的な理由により、産後ケアが受けられないことがないように、利用者負担軽減策を同時に実施すること。
3. 単なる家事支援ではなく、出産後の母子のこころとからだの適切なケアが提供できるよう、産後ケアを担う人材育成を目的とした研修を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

〔提出先〕
内閣総理大臣・厚生労働大臣

平成29年3月24日

湯浅町議会
議長 松本 典久

3月定例会

審議結果	議案名等	石橋千歌子	小松英夫	松本光成	石本一也	横矢政明	山家敏宏	山田真里	由良祥治	山本年哲	松本典久
可	専決処分の承認を求める件[平成28年度湯浅町一般会計補正予算(第5号)]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	教育委員会教育長任命の同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	公契約の基本を定める条例制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	個人情報保護条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	職員の勤務時間及び休日、休暇に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	ふるさとまちづくり基金設置、管理及び処分に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	税条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	介護予防及び地域支援事業負担金徴収条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	学童保育所の指定管理者の指定の件(田栖川元気っ子クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	指定管理者の指定の件(甚風呂、湯浅まちなみ交流館、ミネラルウォーター大型共同作業場)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	平成28年度一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	平成28年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	平成29年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	平成29年度各特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	平成29年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	専決処分の報告について[損害賠償の額の決定及び和解について]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可	産後ケア体制の支援強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

(注) 松本典久議員は議長のため、裁決に加わらない。○は賛成、●は反対、-は退席





- ①「部落差別解消推進法」成立後の相談体制について
- ②日本版「ネウボラ」について
- ③産婦健診で「産後うつ」の予防を
- ④「新生児聴覚検査」で難聴の早期発見を

石橋 千歌子 議員

質問①

近年、インターネット上に部落差別を助長する悪意に満ちた情報が多く見られるようになりました。

根強く残る差別の解消に昨年末に「部落差別解消推進法」（以下「解消法」）が成立施行されました。「解消法」の成立後の相談体制の取り組みは。

答弁（町長）

「解消法」は未だ部落差別が無くなっていない事を認め、国や自治体の責務として差別解消へ、実情に応じた施策を講じること。「長」として非常に強い責任を感じ相談体制の充実を目指し、総合センターと各文化会館の通常相談に加え、「相談窓口」を設ける事を検討します。

質問②

「ネウボラ」は北欧フィンランドで、始まった子育て支援拠点で「相談やアドバイスの場」という意味。妊娠期から就学前までの切れ目のない子育て支援により虐待死件数

も減少し、出生率も高い現状に注目を集めており、日本でも20年度

末までに全国展開するとのこと。早急に日本版「ネウボラ」を設置して子育て支援を。

答弁（健康福祉課長）

日本版ネウボラである「子育て世代包括支援センター」の満たすべき基本要件・支援は、全て実施できております。今後「子育て世代包括支援センター」を庁舎内に設置して更なる子育て支援の強化に努めます。

質問③

昨今、痛ましい児童虐待事件のニュースが後を絶ちません。育児ストレスや「産後うつ」などが原因。相談できない孤立した中での「孤育て」状況に悩む母親の支援が必要では。

答弁（健康福祉課長）

出産後は、急激なホルモンバランスの変化等により心のバランス

を崩しやすくなるため、早期発見

治療が大切と考え、支援を行っています。「産後ケア事業」については、体制強化を図り産婦人科などの専門機関と連携を強化し、産後の支援を実施します。

質問④

「新生児聴覚検査」は先天性の聴覚障害の早期発見を目的とし、音声言語発達への影響を最小限に抑えることができる。全ての赤ちゃんに検査を。

答弁（健康福祉課長）

新生児聴覚検査の実施率は100%です。

要望

100%検査実施に支援をして下さっている皆さまに感謝。更に母親に喜んでいただくために検査費の公費助成を。



安心安全なまちづくりについて



- ① 部落差別解消法における相談体制や教育啓発への対応
- ② 公契約条例可決後の取り組み
- ③ 津波避難シェルター設置の取り組み
- ④ 津波浸水区域内にある地域福祉センターの移転計画の策定

石本 一也 議員

質問①

部落差別解消法における相談体制を行政の機構の中で、明確化することと、差別の解消を推進するための施策を立案するための審議会の設置と、その審議会への当事者の参画を進めていただきたい。

また、部落差別の実態に係る調査が一日も早く行われるよう国や県に働きかけてほしい。

同和教育の軽視、部落問題抜きの人権教育の傾向が進んでいるように思いますが、法律制定後、町の学校教育や社会教育へ部落問題をどう取り入れますか。

答弁(町長)

相談体制の充実や審議会の設置については、庁内の人権施策推進委員会で議論させています。

また、実態調査に関しては、機会あるごとに国や県に働きかけます。

答弁(教育長)

この法律の周知徹底のため校長会を早急に開催し、全職員を対象とした勉強会等も実施していきます。

質問②

ようやく成案化された公契約条例については、町長はじめ関係部局の努力に厚く感謝します。今後は、条例の趣旨を関係機関に十分啓発をし、実のある条例にしたいと思っていますので、要望します。

質問③

南海トラフ巨大地震などの災害が発生したとき、最後まで地元消防団や警察官、役場の職員らが救助活動をするなかで、要救助者を救助しても、安全な場所まで移動させる時間がないとき、役に立つのが津波シェルターだと思いますが、その設置予定は？

答弁(総務課長)

シェルターにつきましては、人命を守る最終手段として有効なものの一つであると認識していますので、平常時の管理や設置場所、予算も含めて、今後検討していきます。

質問④

津波浸水区域の中にある大切な公共施設の中でも、地域の福祉の拠点である地域福祉センターの移転計画を策定していただきたいと思っています。

答弁(町長)

地域福祉センターや保育所など、低地にある施設の高台移転を考えていきたいと思っています。



- ①危険空き家対策の取り組み状況
- ②再任用職員の現状と今後
- ③ふるさと納税担当職員の現状配置
- ④小中学校と地元高校との連携について
- ⑤警察官舎跡地について



山家 敏宏 議員

質問①

以前から質問していますが、当初予算では、空き家実態調査業務委託で800万円を計上していただいています。前向きな取り組みで安心しています。今後のスケジュールを教えてください。

答弁(総務課長)

総合的な空き家対策の計画の原案づくりを年度内をめどに現在進めているところです。より効果的な危険空き家対策を進めていきたいと考えています。

質問②

平成30年度から32年度にかけて、正職員の約1割が再任用職員になるということですが、各課長に要望ですが、再任用の方のモチベーションを上げていただき、若い職員の見本となるように、職務遂行の指導をお願いします。

質問③

平成28年度では、うれしいことに寄附額約9億円、件数にして

7万5,000件の方に御寄附を

いただいたと報告を受けました。苦情も増加する中で、今後に苦情を生かすためにも来年度からの体制についてお聞かせ下さい。

答弁(まちづくり企画課長)

正職員の配置や各課からの応援など体制の充実に努め、ふるさと納税の充実に努めていきたいと考えております。

質問④

湯浅町の活性化の為に小中学校及び地元との連携を密にして、耐久高校を盛り上げていかなければならないと考えています。現状の取り組みは。

答弁(教育次長)

湯浅小学校の6年生の児童たちが、耐久高校の文化祭に参加しております。高校生による案内で、文化祭の催し物や校内を見学でき、6年生たちにとっては、高校活動の様子を見ることができ、貴重な経験となっております。

要望

耐久高校に入学希望者が増加するよう、さらに連携を深めていただきたい。

質問⑤

地方創生拠点整備交付金を活用して、施設をつくっていきましても、町としてのコンセプトを教えてください。

答弁(まちづくり企画課長)

雇用の創出等を目的とし、本町が誇る特産物の物販や流通促進につながる施設の整備を検討しております。

本町を訪れる観光客数等を踏まえ、当該施設を運営することとなる企業等、地元等と十分な協議の上、持続可能な事業運営モデルの検討を進めてまいりたいと思います。



①湯浅町の保育について ②税の徴収業務について



山田 真里 議員

質問①

「子ども子育て支援新制度」が開始して2年を迎えます。実施状況を含め、保育所の環境等について今後の方針を伺います。

とりわけ、老朽化した保育所については、長期総合計画等に統廃合を含めた建設事業として盛り込まれて、今後ほぼすべての自治体

で策定された「公共施設等総合管理計画」により、統廃合を含む事業が優先されていく社会情勢があるなかで、湯浅町では、統廃合を視野に入れた保育所の改築が優先されると考えています。

保育に関しては、「新制度」では、地域のニーズに沿った事業計画を作りますが、そのためには広く意見を聞き決定することが大事です。また、厚生労働省の「保育所保育指針」は、保育の内容や子どもの発達に関しては、保育士を含む職員、保護者、保育関係者、

等々、様々な人の理解と協力の重要性を訴えています。

町長の姿勢である、「意見を十分聞き、理解を得ていく」ためにも、湯浅町の保育の将来についても、湯浅町の保育の将来について、定員や面積など具体的な方針を早く明らかにしていただきたいと考えます。

答弁(健康福祉課長)

「新制度」の事業計画に基づく取り組みですが、経済的負担を軽減し、安心して育てられる環境のために、保育料を改定し、また、第3子以降の保育料を全額補助してきました。現在は、関係機関と連携し、多種多様な課題や悩みを抱えている子育て家庭の相談窓口として、きめ細やかな活動も実施しています。

答弁(町長)

向島保育所と武者越保育所は、築後40年経過し老朽化が進んでおり、向島保育所は津波浸水区域で

もあることから、保育所環境整備については、長期総合計画や過疎地域自立促進計画のメニューにも示しています。老朽化した保育所等の統廃合、あるいは定員の見直し等について、検討していきたいと思っています。

再質問

保育所の運動場の広さは子どもの発達に影響があるとも聞きます。

答弁(町長)

もちろん国の基準があります。湯浅町としては必要な面積を確保したいと思っています。

質問②

税の徴収業務については、紙面の都合で割愛します。



武者越保育所



- ①湯浅町のごみ処理について
- ②町民との約束について
- ③役場からの配布書類について
- ④湯浅町の自慢(日本一)



横矢 政明 議員

質問①

有田郡市の新ごみ処理施設建設について、有衛の問題もあり、広川町が脱退したことを町民が不安に思っている。町長の基本的な考えを問う。

答弁(町長)

平成29年1月20日に県知事が広川町の脱退を許可しましたが、湯浅町としては、今までと変わりなく、有衛施設で民間委託方式のごみ処理を維持しながら、有田広域での新ごみ処理施設建設を目指して、有田市・有田川町と協力していきたいと考えています。

質問②

有衛建設時の町長と地元住民との約束は。

答弁(町長)

平成11年8月26日付で地元区長宛に出した要望に対する回答書を確認しました。既に履行した分もありますが、まだ実現できていない部分は、地元と十分に協議して、

誠意をもって対応していきたいと考えています。

質問③

役場からの配布書類に間違いが多く、町民に損害を与えているのではないかと。損害の責任は町長にあるが、行政事務のトップは副町長だと思うので、管理体制の中で、チェックを強化していただきたい。

答弁(総務課長)

町民の皆さんへの送付書類のいくつかに誤りがあり、原因として、書類を送付する際に担当者だけで処理して、上司のチェックが不十分でした。今後は改めて基本に立ち返り、町民の立場に立って職務に取り組みよう、課長会や研修等を通じて指導します。

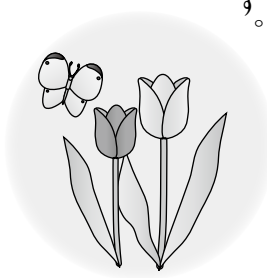
質問④

子ども達が郷土愛を育むためにはどうするかを問う。垣内教育長は今月末で退職されるといふこと

ですが、大変お世話になりました。以前、教育長が作成された「みんなの町 湯浅」は町誌といえるほど中身が濃い冊子ですが、作成するにあたっての考え方、思いを述べていただきたい。また、次期楠教育長に引継いでやっていただきたいことも述べてもらいたい。

答弁(教育長)

調べれば調べるほど、湯浅の歴史は深く、同時に文化面でも紀州をリードしていたのではないかと思います。その一つに、醍醐寺の世界遺産、国宝の金堂、歌人藤原定家が湯浅氏の屋敷に宿泊した日記。明恵上人、醤油発祥の地、また、栖原出身の偉人伝など、湯浅町は歴史に包まれた誇るべき町であり、これをどう受け継いでいくかが我々の本当に大事なことだと思っております。



まちづくりと財政健全化について

- ①今後の清掃業務と給食センター業務の計画は
- ②平成28年度一般会計決算見込みは
- ③その他



松本 光成 議員

質問①・②

今日まで湯浅のまちづくりについて、いろんなものがそろって便利で住みやすい町は、日本全国どこに行ってもないということ、町の宣伝とふるさと納税について、一貫して質問をしてきました。町長は、歴史的風致維持向上計画の策定を初め、ふるさと納税の大幅な増と昨年末東京で開催した醤油醸造文化の発信によるシンポジウムは、日本全国に湯浅の町が大きく取り上げられ、大成功に終わりました。

これからも、単発で終わるのではなく尚一層まちづくりに取り組んで頂きたい。

一方財政健全化について、清掃業務（ごみ収集）は平成29年度から3カ年、一部民営化を実施するが、町の基本的な方針と給食センターは、今後も直営で実施するのか、それとも全て民間へ委託するのかお聞きしたい。

2点目の平成28年度一般会計決算見込みについては、平成25年度で赤字となり26年度・27年度は黒字だが、見込みはどうか。

町長

答弁（町長）

まちづくりについては、今後もしっかり取り組んでいきたい。清掃業務の方向については、この3年間で効果を検証し、状況に応じて臨機応変に対応を考えた。

答弁（教育長）

現在、給食センターは、職員1名、栄養教授1名、非常勤職員8名の体制で行っており、今後も町直営で教育委員会が主導するセンター方式でやっていきたい。

答弁（総務課長）

平成28年度決算は、ふるさとまちづくり寄附金の増もあり、黒字となる見込みです。

今後も、安定した行財政運営を推進していきたい。

要望

清掃業務（ごみ収集）と給食センターは、行政が責任を持ち取り組む重要な業務、今後共よろしくお願したい。

給食センターは、他の自治体で民間委託している会社から食中毒が発生し、食の安全を脅かすことがあり心配したが、現体制を維持するとの答弁があり安心しました。

2点目の決算見込みは、赤字になると、町のイメージダウンになるが、これも黒字の見込みとの答弁があり安心しました。

質問③

潮光園については、紙面の都合で省略します。



議長杯グランドゴルフ大会を開催



優勝	いし ぜき 石関 淳司さん	じゅん じ 淳司さん
第2位	やま ぐち 山口 靖明さん	やす あき 靖明さん
第3位	たけ うち 武内 常廣さん	つね ひろ 常廣さん

2月7日(火)、町民グランドで第16回議長杯グランドゴルフ大会を開催しました。21名の方々がホールインワンを達成、議会から9名の議員が参加しました。



全国町村議会議長会の 町村議会表彰を受賞

湯浅町議会は、多目的ホールと議場を兼ねるなどの取り組みが住民に開かれた議会と評価され、全国町村議会議長会より町村議会表彰を受賞しました。



議会の傍聴にお越しください

議会は公開されていますので、個人でも団体でも自由に傍聴することができます。議会での議員の発言や町長の考えを直接見聞きすることができますので、お気軽にお越しください。

次回の6月定例会は
6月7日(水)～
開催予定です。



議会広報

編集常任委員会

委員	委員	委員	副委員長	委員長
石本	松本	石橋	山田	山本
一也	光成	千歌子	真里	年哲



「目には青葉 山ホトトギス 初鯉」初夏を彩る緑の美しい季節を迎えました。皆さま、お元気でお過ごしでしょうか。

私たち編集委員一同は、より親しみやすい紙面づくりを目指してまいりましたが、本年、第31回町村議会広報全国コンクールに応募し、参加証をいただく事ができました。

今後とも、皆さまのご意見も伺いながら、努力する所存です。どうぞよろしくお願いたします。

(石橋 千歌子)

編集後記

